

第40号 平成26年2月1日発行 (偶数月発行/年6回)

【発行者】 中国・四国中国帰国者支援・交流センター  
 社会福祉法人 広島県社会福祉協議会  
 〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2  
 TEL 082-250-0210  
 FAX 082-254-2464  
 E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

**国際交流・協力の日**  
 11月17日(日)広島市で「国際交流・協力の日」が開催され、当センターも参加しました。中国残留孤児について広く知ってもらうため、パネルや写真を展示しました。中国結体験コーナーでは、帰国者1世が指導し、帰国者2世が通訳を担当しました。秧歌隊が屋外を踊りながら宣伝活動したこともあり、異文化に興味を持った親子連れや留学生など、多種多様な人々が訪れ、来場者が途絶えることはありませんでした。

**岡山県・広島県健康増進交流会**  
 11月18日(月)岡山県と広島県の帰国者を対象に健康増進交流会を開催しました。岡山県赤磐市に60人近くの帰国者が集まり、グラウンドゴルフを行いました。初めての参加者も数人いましたが、プレイ中は初対面の参加者同士でも気軽に声をかけ合い、交流を楽しんでいました。グラウンドゴルフは高齢の帰国者でも無理なく長い距離を歩くことができるスポーツなので、今後も交流会に取り入れたいと思います。

**香川県・徳島県社会見学会**  
 11月30日(土)香川県と徳島県の帰国者を対象とした社会見学会を開催しました。神戸市にある国の重要文化財、孫文記念館では孫文と日本、神戸との関わりについて知ることができました。昼食を兼ねて行った南京町中華街では、地元で手に入らない食材や中国のお菓子を大量に購入した帰国者の満足そうな顔が印象的でした。その後、人と防災未来センターを見学しました。言葉の問題で地域の防災情報から取り残されがちな帰国者にとって、防災意識を新たにできる良い機会となりました。

**愛媛県相談説明会・健康増進交流会**  
 12月14日(土)愛媛県の帰国者を対象に救急法講習会とスポーツ吹矢大会を開催しました。救急法講習会は人形とAEDを使った実践的なものでした。AEDという言葉を聞くのも初めての参加者たちでしたが、後半では「妊婦にも使えるのか」など踏み込んだ質問も出るようになり、とても勉強になったようです。スポーツ吹矢は全員が初体験でしたが、講師からほぼマンツーマンで指導を受けることができ、日本語での交流に繋がりました。

**就職講座**  
 1月8日(水)広島県の帰国者を対象に就職講座を開催しました。民間会社の協力で介護職員養成講座を体験させていただきました。前半は介護保険制度の仕組みの紹介、後半は車の使い方やベッドから車いすへの移乗などの実技演習が行われました。参加者は自身の就職と同時に親の介護への関心も高く、真剣な面持ちで講義を受けていました。2・3世の介護職員養成は1世の高齢化対策にも繋がるため、今後もこのような機会を設けたいと思います。

**岡山県相談説明会・健康増進交流会**  
 1月10日(金)岡山県の帰国者を対象に救急法講習会とボウリング大会を開催しました。救急法講習会では、AEDについて聞いたことがないという参加者が大半の中、自分で地域の講習会に参加したという1世がいてとても感心しました。ボウリング大会では、初体験の参加者もいましたが、お互いに教え合っ楽しんでましたようです。これをきっかけに少しずつでも行動範囲が広がり、社会と接点を持てるようになってもらいたいです。



**中四国地域の活動報告**

**①岡山県主催「福祉事務所現業職員(中堅)研修会」**  
 11月27日(水)岡山県主催「福祉事務所現業職員(中堅)研修会」が開催され、今年度は中国残留邦人への支援がテーマとして取りあげられたため、当センターの職員が講師として招かれ、帰国者の歴史的背景や現状と課題について説明しました。参加者は日頃、帰国者と接していない人が多いにも関わらず、熱心にメモを取る姿が印象的でした。これを機に中国帰国者に関心を持っていただければと思います。

**②広島市立二葉中学校 夜間学級 進路学習**  
 11月27日(水)広島市立二葉中学校の夜間学級で進路学習が開催され、当センターの職員が講師として招かれました。二葉中学校の夜間学級は日本語教室として利用する外国籍の人が多く、中でも中国帰国者が約7割を占めます。当センター職員が帰国者2世でもある自身の経験を通して、日本語学習の重要性や地域社会に溶け込む必要性を語り、熱心に耳を傾ける参加者の姿が印象的でした。



**お知らせ**

**①自分の年金について理解していますか?**  
 日本で就労した期間が短いなどの理由で、年金がもらえないと思い込んでいる人はいませんか?年金未加入期間が「カラ期間」とみなされ支給可能なケースもあります。自分できちんと確認しておきましょう!

**②センター元受講生!学習発表会に来ませんか?**  
 体調不良などにより通所できなくなった元受講生を学習発表会にご招待します。送迎バスが出ますので、詳しくはお問い合わせを!

**2月・3月の予定**

3月3日	学習発表会	〔広島県〕	3月17日	健康増進交流会	〔広島県〕
3月4日	異文化交流会	〔広島県〕			

**投稿募集**  
 あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか?みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

**編集後記**  
 3月3日の「雛祭り」は、雛人形を飾り、女の子の健やかな成長を願う行事のことで、「桃の節句」「上巳の節句」とも呼ばれています。雛人形は立春(2月4日)頃から2月中旬までに飾り、遅くとも3月中旬までに片付けた方がよいと言われています。雛人形は子供の災厄を身代わりとなって守ってくれるため、長い間身近においておかないで早くしまわなければ縁起が悪いためです。また、いつまでも飾っておくと梅雨も近づき、カビの心配もあることから「片付けの出来ない娘はいいお嫁さんになれない」という戒めのためとも言われています。(岡崎)

第40号 平成26年2月1日 发行  
(偶数月发行/年6回)

【发行者】  
中国·四国中国归国者支援·交流中心  
社会福祉法人 广岛县社会福祉协议会  
〒732-0816 广岛市南区比治山本町12-2  
TEL 082-250-0200  
FAX 082-254-2464  
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp



## 国际交流·协力日



11月17日(周日)中心参加了由广岛市举办的「国际交流·协力日」。为了让社会更为广泛的了解中国归国者,在会场展示了相关的照片和图板,并且开设了学做中国节体验角,归国者1代来当老师,归国者2代来做翻译。此外,还带着秧歌队进行了户外宣传。当天,有的是对多文化怀有兴趣带着孩子来的一家人,有的是留学生,来宾来自方方面面,一天的到访者可以说是络绎不绝。

## 冈山县·广岛县促进健康交流会

11月18日(周一)以冈山县和广岛县归国者为对象举办了促进健康交流会。在冈山县赤磐市进行了迷你高尔夫球比赛,当天的参加者近60名。有的人虽然是初次参加这样的活动,但是在比赛中大家有说有笑,交流的十分融洽。迷你高尔夫球对高龄归国者来说是一项行走时间较长但是身体负担不大的体育运动,所以今后还会多多举办这样的健康促进活动。



## 香川县·德岛县社会观摩会



11月30日(周六)以香川县和德岛县归国者为对象举办了社会观摩会。在被指定为国家重要文化财产的神户市孙文纪念馆,一起学习有关孙中山先生与日本以及神户的历史文化知识。之后在中华街吃的午饭,在那里大家买了不少在自家附近难以买到的食材和中国点心。下午参观学习了人与防灾未来中心。对归国者而言由于语言的障碍,无法充分获得地区的防灾情报。希望借这次学习机会能够更进一步提高大家的防灾意识。

## 爱媛县咨询说明会·促进健康交流会

12月14日(周六)以爱媛县的归国者为对象举办了急救法讲座和体育吹箭比赛。在急救法讲座中大家利用人体模型和AED进行了实践演习。不少归国者都是初次听说AED(自动体外除颤器),通过学习,到了讲座的尾声,有的参加者还提出像「当伤患是孕妇时也可以使用AED吗?」这样深度的问题。通过这次讲座学习让人深感受益匪浅。下午的吹箭活动大家都是初次体验,通过老师一对一的指导既让大家掌握了技巧,又进行了日语交流。



## 就职讲座



1月8日(周三)以广岛县归国者为对象举办了就职讲座。这次在民营企业的大力协助下,和大家一起参加了护理工作人员培训讲座。讲师在前段时间介绍了介护保险制度的基础构造,后半段时间介绍了轮椅的结构和使用方法,还进行了如何将护理者从床上搬移到轮椅的实践演习。护理资格不仅涉及到参加者今后的工作走向,还关系到将来对自己父母的护理问题,所以大家都听得非常专注。2·3代归国者护理人材培养问题与1代高龄化对策有着很大的关联,为此在今后还需要继续多进行这方面的研修。

## 冈山县咨询说明会·促进健康交流会

1月10日(周五)以冈山县归国者为对象举办了急救法讲座和保龄球比赛。在急救法讲座中,当讲师问大家是否听说过AED时,大多数人都表示不知道,但其中也有表示以前曾经参加过地区急救讲座的归国者1代,令人深感钦佩。保龄球比赛中也有头一次接触保龄球的人,但是在其他归国者的帮助下,很快就适应了。希望通过这样的交流会多多扩展大家的活动范围,增加与社会的接触机会。



## 中四国地区活动汇报

### ①冈山县主办「福祉事务所在职职员(骨干)研修会」

11月27日(周三)冈山县举办了「福祉事务所在职职员(骨干)研修会」,这次研修的主题为如何加强对中国残留邦人的支援工作,中心职员做为讲师向与会者介绍了归国者的历史背景、现状和所面临的问题。与会者平时与归国者的接触机会虽然不多,但是对研修内容听得非常专注,会上大家认真的做着笔录,给人留下深刻印象。希望通过这样的研修能更进一步加深大家对归国者的关注。



### ②广岛市立二叶中学 夜间班级 升学学习会

11月27日(周三)中心职员做为讲师参加了由广岛市立二叶中学夜间班级举办的升学学习会。在二叶中学的夜间班级里,以学习日语为目的来校的外国人不在少数,这期间大约有7成是中国归国者及其家属。自身为归国者2代的中心工作人员通过亲身体验,向各位学员介绍了日语学习的重要性以及融入地区社会的必要性,与会者专注的倾听姿态给人留下深刻印象。

## 通知

### ①大家对自已的年金问题知道多少?

不少人认为由于自己来日年限较短,所以老后有可能领不到年金。大家是否知道年金未加入期间如果被视为「空栏期间」,老后也有领取年金的可能。因此希望大家详细确认自己的年金状况。

### ②各位前中心学员,欢迎大家来看看学习发表会!

由于身体状况不佳无法定期参加中心各种教室的各位前学员,欢迎大家来参加中心的学习发表会。中心负责接送,有兴趣者请直接与中心联系,

## 2月·3月预定

3月3日	学习发表会	[广岛县]	3月17日	健康促进交流会	[广岛县]
3月4日	异文化交流会	[广岛县]			

### 征集投稿

您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?在此,向大家征集稿件,内容不限,可以是日常生活琐事,也可以是追忆往昔,或者是介绍专项所长。原稿字数限400字以内,投稿可直接送到中心,邮寄、传真亦可。

期盼大家积极踊跃的投稿!

### 编辑后记

每到3月3日的「偶人节」,有女孩儿的人家就会在家里搭架摆设偶人,以祈祷孩子的健康成长,「偶人节」还被称作「桃花节」或「上巳节」。陈设的准备工作通常在立春(2月4日)到2月中旬期间进行,陈设期限最晚也不能超过3月中旬。据说是因为由偶人代孩子消灾避难,所以最好不要过长时间摆放在身边。此外,摆设的时间过长,接近梅雨季节时,就容易返潮发霉,所以会有「不知道收拾的女孩儿将来不容易成为好媳妇儿」这一教诲。(冈崎)